

積 寒 協 ニ ュ ー ス

令和5年6月13日、花角会長が国土交通省に対し、令和6年度政府予算に対する要望活動を行いました。

去る6月13日（火）に、会長である花角新潟県知事が国土交通省に対して、令和6年度政府予算に対する要望活動を行いました。

本要望では、古川 康 国土交通大臣政務官に御対応いただきました。



（国土交通省 古川政務官へ要望書を手交）

会長からは、令和4年度は、より短時間で集中的な降雪であったことや、大雪や記録的な寒波の影響により、大規模な車両滞留、列車の立往生、倒木による停電など、地域住民の生活や社会・経済活動に多大な影響があったことを説明しました。

また、道路除雪について、昨今の労務単価の上昇や急激な資材費の高騰などにより、地方自治体の負担は増大していることから、引き続き道路除雪費の確保に取り組むこと、高速道路及び直轄国道において、通行止めをできるだけ発生させない事前対策の更なる充実や早期の規制解除に向けた集中除排雪体制の強化などについて強く要望しました。

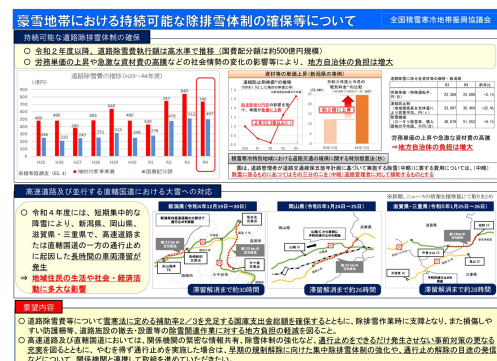
【参考】



（要望活動等に使用した要望書）



（説明資料① 豪雪地帯の現状について）



（説明資料② 道路の除排雪体制について）

豪雪地帯安全確保緊急対策交付金については、高齢化の進行、除排雪の担い手不足、空き家の増加など、豪雪地帯における課題は、複雑化・深刻化しており、地方自治体の取組を定着させていくために、長期間の支援が必要であること、今後の交付金の扱いについて、引き続き地方自治体の意見を聞きながら検討していくよう要望しました。

これらの要望に対して、国土交通省古川政務官からは、要望に対して「関係部局にもしっかりと伝えておく」等の御発言をいただきました。

なお、先立って6月2日（金）には、国土交通省国土政策局に対し、同様の内容にて要望活動を行いました。

今後もあらゆる機会を通じて、要望実現に向けた働きかけを行ってまいりますので、皆様におかれましても引き続き御協力お願いいたします。

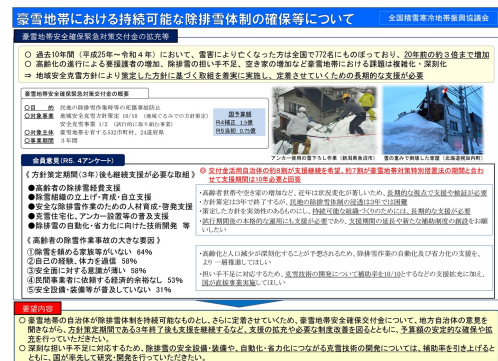
【事務局より御礼】

会員各位におかれましては、短期間における
様々な調査や写真提供等に御協力いただき、誠
に感謝申し上げます。

今回のような要望活動をはじめ、積雪寒冷地帯において住民が安全・安心に暮らせる地域づくりに向けて取り組んでいくことは、本会の重要な役割と考えております。

今後も引き続き、本会活動に対する御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

【参考】



(説明資料③ 豪雪交付金について)